



現地開催予定

INVITATION
女子
学部学生
院生

やっぱり 物理が好き!

ー物理に進んだ女性のキャリア

講師

岩村 由樹「将来設計が思い描けずにきた私なりの進路の選び方」
株式会社ニコン映像ソリューション推進室 第一開発課 Associate Researcher

山田 雅子「“これまで測れなかったものを測れるようにする”屋」
高エネルギー加速器研究機構 (KEK) 物質構造科学研究所 中性科学研究所 助教,
J-PARCセンター 物質・生命科学実験施設 中性利用セッション

太田 直美「100億光年の銀河たちを追いかけて」
奈良女子大学大学院自然科学系物理学領域 准教授

石坂 香子「光と電子を使った物質計測」
東京大学大学院工学系研究科 耐量子相エレクトロニクス研究センター 教授



過去の現地開催時の様子

これから物理を学ぼうという女子学部生や物理分野に進学した学部生及び大学院生のみみなさんに向けて、様々な講師の方をお招きしキャリアパスをご紹介します。質問会もあり、参加者同士のネットワークをつくり、広く物理学分野 (素粒子・原子核、宇宙・天文、物性、物理工学) の魅力を感じていただく稀有な機会となります、奮ってご参加ください。

日時：2024年11月23日(土) 13:00-17:00

会場：カブリ数物連携宇宙研究機構棟 1F レクチャーホール (ほか)

対象：物理を学ぶ女子大学生及び大学院生 (工学系や天文分野の方も大歓迎)

参加費：無料

定員：30名程度 (事前申込制)

後援：東京大学理学部物理学科、東京大学多様性包摂共創センタージェンダー・エキイティ推進オフィス、日本物理学会、応用物理学会、高エネルギー加速器研究機構、東京農工大学工学部、お茶の水女子大学理学部物理学科、法政大学理工学部創生科学科、総合研究大学院大学

申込：HPよりご応募ください (定員に達し次第締め切り)

<https://www.ipmu.jp/ja/20241123-WomenStudents>

通知：申し込まれた方に開催情報をメールでお知らせします。

問合せ：☎ 04-7136-5977

Email: koukai-kouza@ipmu.jp (Kavli IPMU 広報)



世話人：廣井雅二 (東大物性研)、横山徹一 (Kavli IPMU)、萩原一 (東大宇宙線研)、森田果 (東大物性研)、村山真 (Kavli IPMU)、堀田理恵 (東大宇宙線研)、中島多留 (東大物性研)、松田直 (東大物性研)、鈴木博之 (東大物性研)、松尾由貴利 (法政大)、野村美保子 (高工研)、藤沢子 (東京農工大)、吉川はづき (お茶大)、熊田円 (東大物性研)、中村悦生 (東大宇宙線研)、小森真里奈 (Kavli IPMU)、坪井彩乃 (Kavli IPMU)
※(注1) 遠方の学生の方については柏キャンパス内の宿舎を無料でご利用いただけますので、ご相談ください (申込先着順で5部屋)。ただし、旅費はご自身の負担となりますことご了承下さい。
※本企画はキオクシアホールディングス㈱の理系女性活躍推進活動にご支援いただいております。



UTokyo



東京大学
物性研究所



やっぱり物理が好き！—物理に進んだ女子学生・院生のキャリア

2024年11月23日(土) 13:00-17:00

これから物理を学ぼうという学部生や物理分野に進学した学部生及び大学院生のみなさんに向けて、様々な講師の方をお招きしキャリアパスや研究内容をご紹介します。今年は現地開催で実施いたします。

開会挨拶 13:00-13:05

講演1 13:05-13:30

将来設計が思い描けずに きた私なりの進路の選び方

思い返すと子どもの頃から今に至るまで、将来設計は正直まともに考えられたことがありませんでした。それでもその時々でやりたいことを選んでみたら、大学院では海外の山の上で外国人と共同生活したり、会社ではそれまで知らなかったメタバースの世界に飛び込んだりと、自分では想像もしなかった経験もしてこられました。進路選択の一例として、ケセラセラな精神で進んでも自分なりに面白く生きてこられた私の経験をご紹介します。

いわむらゆき
岩村 由樹

株式会社ニコン 映像ソリューション推進室 第一開発課 Associate Researcher



東京大学大学院理学系研究科物理学専攻博士課程を2021年に単位取得退学後、株式会社ニコンに入社。映像を活用した新規事業を立ち上げる部署において開発業務に従事。

講演2 13:30-13:55

"これまで測れなかったものを 測れるようにする"屋

私は高校生まで文系で、物理の道に進むなんて全く考えていませんでした。それがとあるきっかけから物理を志し、中性子実験装置をレンズなどの光学素子を駆使して高度化し、これまでに測れなかったものを測れるようにする、そんな研究をしています。まだまだ道半ば、毎日挫折や苦悩しながら、でもやっぱり研究って楽しいな、と感じる日々です。これまで従事してきた中性子に関わる研究と、紆余曲折してきた経歴を織り交ぜてお話しさせていただきます。

やまだまさこ
山田 雅子高エネルギー加速器研究機構 (KEK) 物質構造科学研究所
中性子科学研究系 助教,
J-PARCセンター
物質・生命科学実験施設 中性子利用セクション

茨城県つくば市出身。2013年に京都大学大学院理学研究科博士課程修了、博士(理学)。理研にて特別研究員、スイスのPaul Scherrer Instituteにてポスト・Scientific staffを経て、2022年6月より現職。専門は中性子光学と表面・界面物性。

休憩・集合写真 13:55-14:10

施設見学/移動 14:10-15:20

休憩 15:20-15:30

講演3 15:30-15:55

100億光年の銀河たちを 追いかけて

宇宙はどのように形作られてきたのか？宇宙を満たす暗黒物質や暗黒エネルギーの正体は？そんな壮大な謎に挑むため、X線衛星や地上望遠鏡を駆使して宇宙最大の天体である銀河団を観測しています。仲間と知恵を合わせてデータを分析し、見えない宇宙の姿を明らかにしていくことは、研究の醍醐味です。講演では、研究の楽しさや、国内外でのポストク経験、国際共同研究の魅力などについてお話しし、実際の研究者生活の一端をお伝えします。

おおたな おみ
太田 直美奈良女子大学研究院
自然科学系物理学領域 准教授

東京大学大学院理学系研究科物理学専攻博士課程修了、学振研究員、理化学研究所、JAXA、MPE フンボルト奨学研究員、東京理科大学助教などを経て現職。ボン大学アルゲランダー天文学研究所客員教授併任。専門は、X線宇宙物理学。

講演4 15:55-16:20

光と電子を使った物質計測

学部生の頃、物理を勉強するうちに、物質の中に広がる量子力学的な世界に魅せられました。それ以降、世界を変えるような新しい物質や機能を見つけ出すことを目指して、日々研究仲間と奮闘しています。当日は、物質の先端計測研究についてご紹介しつつ、学生時代から現在に至るまでの研究活動やその時々課題、チャレンジについてお話しできればと思います。

いしざか きょうこ
石坂 香子

東京大学大学院工学系研究科 附属量子相エレクトロニクス研究センター 教授



東京大学工学系物理学専攻博士課程修了後、東大物性研究所助教、工学系物理学専攻准教授を経て、2018年より現職。2017年から理化学研究所創発物性科学研究センターにてチームリーダーも兼務。専門は物性物理実験。

交流会 16:20-16:55

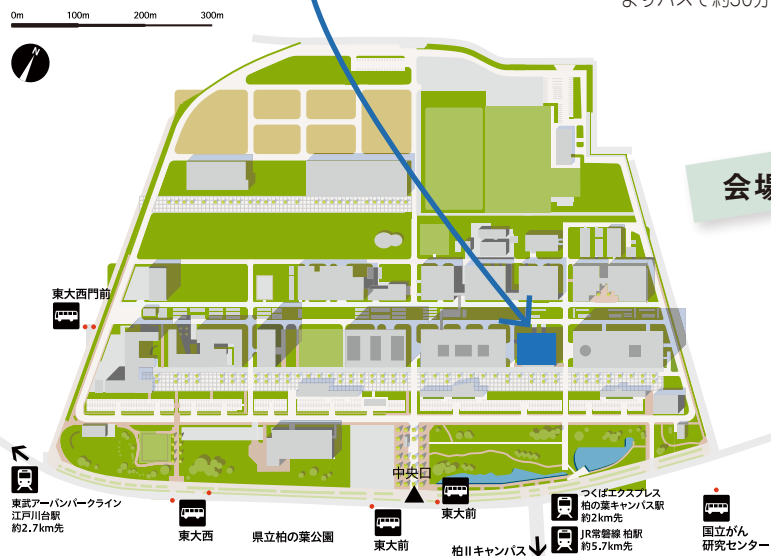
閉会挨拶 16:55-17:00

自由交流時間 17:00-17:30

東京大学柏キャンパス Kavli IPMU棟

住所：千葉県柏市柏の葉5-1-5

柏の葉キャンパス駅(つくばエクスプレス)
よりバスで約8分
柏駅西口(JR常磐線・アーバンパークライン)
よりバスで約30分



会場